



レイテ王国城下町――

おじさん
いつもありがとっ

レイナちゃんっ
きよ今日も可愛いねえ
レイナちゃんのパンは
すごくおいしくてね……

あははおじさん
それ昨日も言ってたよ
どーもね

まだ幼い妹には辛い
出来事だったけど
好奇心旺盛なこともあり

パンを焼く手伝いを
してくれて
なんとか二人でやっている

両親を早くに亡くして
しまったあたしは
なんとか食べていくため
パン屋を営んでいます――

二人だと
大変なことも
あったけど

やっほー!!
売れてるかー?

わー?
大工さんのお仕事
サボってていいのー?

昼飯に少しパン
もらえたらなってさ

これから3人で
頑張っていくこと
になりました――

今朝あんだけ
食べたのに

しょうがない
レイナさん特製
スペシャルブレッドを
あげましょう

どけ
クソガキツ!!

何度も言わせるな!!
ここは今からメレニア様が
お通りになるのだっ

くらう...

これ以上痛い目に
あいたくなかったら
通路に出るんじゃないっ

うるさいっ
そのガキには散々
注意してるんだっ

お前らやめろっ
子供のしたことだろっ!!

あいつらまた....

あれ....

何ごとじゃ



……ッ!!



ほう…
聞き分けのないやつは
死ぬまで税をあげればよい



はっ申し訳ありません
こやつがガキをかばい
邪魔をしているのです



王女よ

あれって…

わたしには将来を
誓ったものがおりまして…

おねえちゃん
あれ…

ほうこの期に及んで
何を言うかと思えば…
お父上に言えばこの街から
消すこともできるんじゃないぞ

……ッ



どうしてくれようかと
思うておったが
お前城にきて
わらわの夜の相手をする事を許そう



ほう
そのもののお前は
運がよいのう
此度の無礼許さんでもないぞ

その日の夜――

あつちに逃げたぞっ

ばあ ばあ

冗談じゃないっ
あんなクソ王女と
なんてできるかっ

すぐにレイナ達と合流して
この街を出るぞっ



えっ あっ…カイトっ
大丈夫なの!?
お城に連れてかれたって…

すまない二人ともっ
すぐにこの家を
出るぞっ

えっ!?

いきなり出て
いくって
どういうこと?

悪いけど…
今は時間がないんだっ
ちゃんと説明はあとでっ…





入ってくんじゃねえッ!!



勝手に俺らの家に…



貴様アツ!!
もう逃げられんぞっ!!



先程の者を
連れてまいれ



いくら王女様の
命令といえど……
聞けません



ま待ってくださいい…
私は何もしてませんっ
こ殺さないでくださいい……



ふむ……

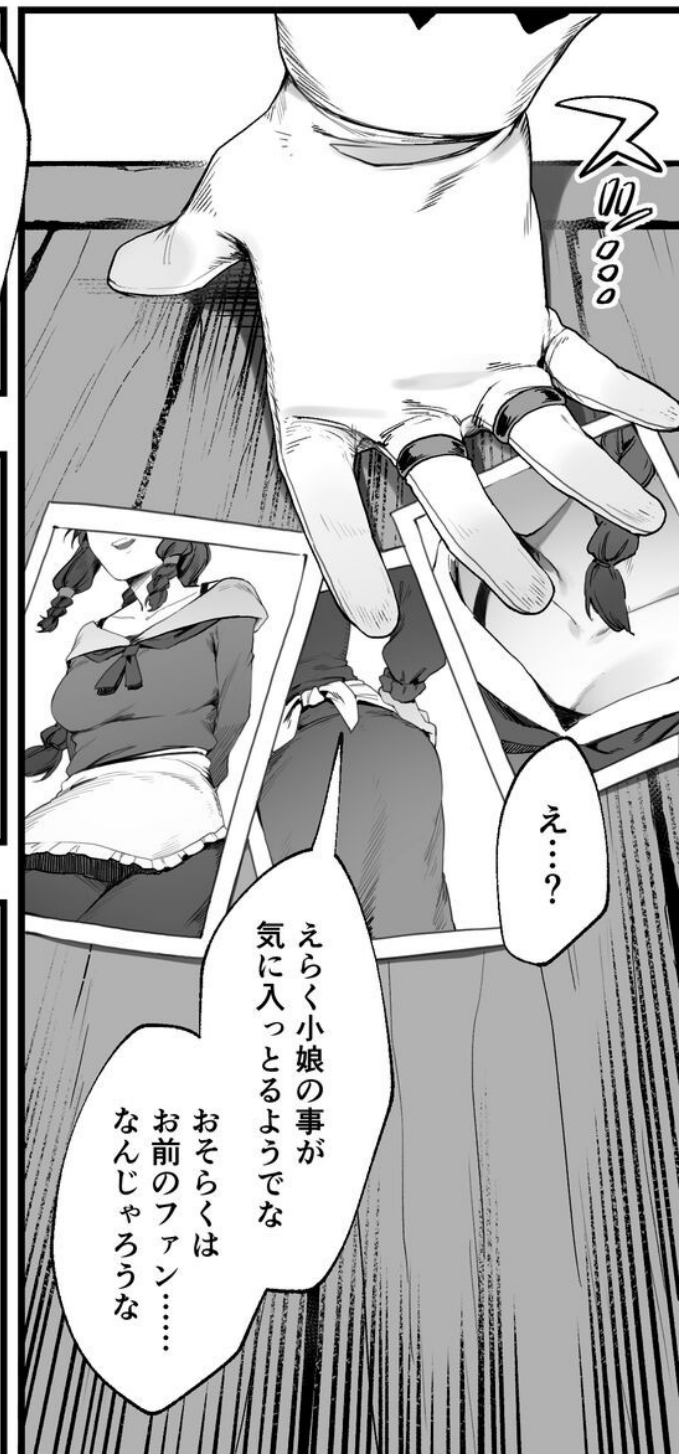
そうか……



こやつか将来を
誓ったとかいうのは……

見たところ
薄汚い小娘じゃ

こやつがおるから
わらわの物にならん
というのだな?





一年後――

メレニア様……
本日のご奉仕……
いかがでしたでしょうか……

よいさすがは
わらわが
見込んだペットじゃ

そういえば
お前の元婚約者じゃが
城にくると言うておったの
いつじやったか……

ここんな事に
なっちゃったけど……
へ変な事は絶対しないからっ!!

絶対!!
あ安心してっ!!

そそうですよね……
いつもパン…買って
くれてましたもんね……

とかいうておった
そうじゃが――

気になるか?
あれからどうなったか
教えてやろうか

ちくいち状況を
報告するよう
言うておったからの

1日持たんかった——

